

15 高齢者

【関連章第6章1】

事例2 「冷凍食品を電子レンジで長時間加熱したため出火」

出火時分 5月 6時ごろ

用途等 住宅 防火造2/0 延70㎡

被害状況 建物ぼや1棟 食品若干、プラスチック製トレー1枚焼損

概要

この火災は、高齢者が住む住宅の1階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者である高齢者が電子レンジで冷凍食品を温める際に、付属のプラスチックトレーごと庫内に入れ、加熱時間を15分間に設定して温めたところ、冷凍食品及びプラスチックトレーが過熱され出火したものです。

居住者は電子レンジで加熱を始めた後、2階に向かい布団を畳んでいたところ、インターホンが鳴り隣人から煙が出ていることを知らされ、1階へ降りると電子レンジから煙が出ているのを発見しました。

通報は、隣人が散歩中に焦げ臭い臭気を感じ、臭いがする方向へ歩いていくと建物の窓から煙が出ているのを発見し、自宅の固定電話から119番通報しました。

教訓等

この火災は、高齢者が冷凍食品と共に付属のプラスチックトレーを庫内に入れ、電子レンジで長時間加熱したため、火災になったものです。

電子レンジでは、食品を長時間加熱したり、調理ができないプラスチック製品のものや金属製容器等を加熱したことによる火災が多く発生しています。

電子レンジの火災を防ぐためには、食品の調理方法の表示で使用方法や食品の加熱時間を確認し、調理中はその場を離れず、食品の様子を見ながら加熱しましょう。

火災が発生した時は、電子レンジの扉を開けずに電源を遮断し、扉を閉めたまま庫内を確認して、消火器などの消火器具の準備をしましょう。



写真 15-3 電子レンジの状況



写真 15-4 焼損した食品の状況